

平成30年2月22日(木)
群馬産業技術センター 企画管理係
電話：027-290-3030 (代)

第28回「産学官交流出合いの場」を開催します

～新規導入するX線CTの活用方法、産学官連携による加工技術の高度化～

群馬産業技術センターでは、技術開発の中核的支援機関として「産学官交流出合いの場」を開催し、技術開発を試みる企業と大学等の研究者とが積極的に交流するための場を提供しています。

今回は、今年度新規導入される「X線CT」及び「切削動力システム」を中心に生産性向上、品質向上に資することができるようなテーマで講演と産業技術センターの取組みを紹介し、産学官連携のきっかけになるよう、皆さまのご参加をお待ちしています。

- 1 日 時 平成30年3月1日(木) 13:30～17:00
- 2 開催場所 群馬産業技術センター 第1研修室(前橋市亀里町884-1)
- 3 内 容
 - (1) 「高分解能計測用X線CTシステム装置の概要」
講師：GEセンシング&インスペクション・テクノロジーズ株式会社 菱田 寛之 氏
概要：VDI/VDE2630に準拠した形状測定や複雑に入り組んだ精密な内部構造を持つ部材や、異種素材、複合材料のCT測定について説明します。
 - (2) 「切削加工における職人作業の数値化とその活用」
講師：有限会社山口精工 代表取締役 牧野 好晃 氏
概要：これから日本の製造業が生き残るためには、職人技術を標準化し、生産性を向上させることが重要な課題である。そこで、アルミダイカスト金型製作の切削加工プロセスにおける職人作業の数値化について、産学官の連携による取組を紹介する。
 - (3) 「切削加工プロセスの状態監視技術と運用方法」
講師：埼玉工業大学 工学部 機械工学科 准教授 河田 直樹 氏
概要：工作機械などの生産設備を良好な状態に保つためには、状態監視技術が必要となる。この技術の重要な要素となるセンシング、波形解析、各種判別手法について詳しく説明し、生産に対して効果的なシステム構築の考え方と運用方法について解説する。
 - (4) 「切削抵抗に着目した加工プロセスの改善」
講師：東毛産業技術センター 独立研究員 鍋木 哲志
概要：センターでは切削加工中に工具やワークが受ける抵抗(力)に着目した改善について研究を行っている。切削動力計による切削抵抗の測定結果を活用し、加工現象の理解と合理的な対策による加工プロセスの改善について共同研究成果を中心に紹介する。
 - (5) 交流会
- 4 主催等 主 催：群馬産業技術センター
共 催：群馬県IoT推進研究会、ぐんま航空宇宙産業振興協議会、
(公財)群馬県産業支援機構
- 5 定 員 60名程度(先着、無料) ※事前の申込みが必要です。
- 6 申込方法 参加申込書※に、会社名、ご連絡先、参加者氏名・部署(複数可)を明記の上、平成30年2月27日(火)までに、下記申込み先にFAXまたはE-mailでお申込みください。
※群馬産業技術センターのホームページ(<http://www.tec-lab.pref.gunma.jp/>)から参加申込書をダウンロードできます。
- 7 問合せ先 群馬産業技術センター(前橋市亀里町884-1) 企画管理係
TEL：027-290-3030 FAX：027-290-3040 E-mail：git@tec-lab.pref.gunma.jp